

呼吸器専門医コース

目的： 日本呼吸器学会呼吸器専門医の資格取得を目標とする。

指導医： 三浦溥太郎

対象者： 日本内科学会認定内科医の資格を有する医師。

研修期間： 3年間で専門医資格をとることを、原則とする。

(認定内科医の資格を取得した年度から研修期間に算定可能)

当院呼吸器内科の特徴：

- 三浦半島の中央に位置し、ほぼ三浦半島全域が診療圏となっており、症例が豊富である。中でも、石綿（アスベスト）関連呼吸器疾患は我が国の中で歴史的にも最も多い地域のひとつである。
- 地域医療連携を積極的に推進しており、紹介患者は極めて多い。また、救急科との連携診療も多い。呼吸器科としての地域医療連携協力行事は、下記のとおりである。
 - ① 横須賀市胸部検診の読影および二次検診
 - ② 横須賀市立うわまち病院呼吸器勉強会：年6回（病診・病病連携）
横須賀市胸部検診読影委員の研修も重ねている。
- 院内各科協力による診療・研修
 - ① 院内症例の臨床病理検討（随時；原則として全症例）
 - ② 放射線科との症例検討会（年4回程度）

研修内容：呼吸器学会の研修プログラムにのっとり行われる。

- ・ 経験を要する疾患症例については、主治医として研修する。
- ・ 比較的まれな疾患症例については、主治医として、あるいは回診、症例検討会などにより研修する。
- ・ ほぼすべての疾患症例について3年以内に経験することが可能である。
- ・ 標準的な検査については、自ら行うことができるようになる。
- ・ まれな検査、機器の備えのない検査に関しては、見学等により経験する。
- ・ 手術症例については、他院での手術も含めて、できうる限り見学する。

上記、連携行事に積極的に参加する。